

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月6日  
上場取引所 東

上場会社名 水道機工株式会社  
 コード番号 6403 URL <http://www.suiki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 眞理  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門経理部長 (氏名) 堀江 達也 TEL 03-3426-2131  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,534	△17.1	△823	—	△771	—	△576	—
25年3月期第2四半期	5,466	11.2	△42	—	△5	—	3	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △447百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△26.88	—
25年3月期第2四半期	0.15	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	13,300	6,687	50.3	311.79
25年3月期	15,611	7,285	46.7	339.65

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,687百万円 25年3月期 7,285百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 記念配当 2円00銭

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,180	△0.6	900	△26.1	1,040	△25.8	480	△62.1	22.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	21,479,844株	25年3月期	21,479,844株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	32,234株	25年3月期	30,979株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	21,448,271株	25年3月期2Q	21,449,453株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 3 「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策（アベノミクス）や大胆な金融政策による円安・株高効果が発現するなか、企業収益の改善や個人消費の持ち直しにより、景気は緩やかな回復を継続してまいりました。その一方、先行きについては、来年度からの消費税率引き上げや海外経済の下振れ懸念など、依然不透明な状況が続きました。

当社グループの関連する水処理業界は、公共部門においては補正予算による押し上げ効果は一部あるものの、従前からの市場縮小による競争の激化が続き、民需部門においても設備投資の力強さには欠けるなど、依然厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは平成25年度より新中期経営計画をスタートさせ、本計画のもと、“新生水道機工グループ”を目指し、更なる企業体質の強化と成長戦略の実行に努めてまいりました。

当第2四半期の連結業績については、受注高は主力の上下水道事業において大型プラント工事の受注が増加したことにより、99億56百万円（前年同期比40.8%増）と前年同期比で大幅な増加となりましたが、売上高については、同事業における大型プラント工事の進捗や完工があった前年同期に比べ減少し、45億34百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

損益の状況につきましては、売上高の減少ならびに売上原価率が前年同期に比べ低下した結果、営業損失は8億23百万円（前年同期は営業損失42百万円）となり、経常損失7億71百万円（前年同期は経常損失5百万円）、四半期純損失5億76百万円（前年同期は四半期純利益3百万円）となりました。

なお、当社グループの主力である水処理事業の特徴としては、売上計上が第4四半期連結会計期間に集中する傾向がある一方、販売費及び一般管理費等においては各四半期における変動が少ないことから、利益面については売上高と同様に第4四半期連結会計期間に偏重する傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べて23億10百万円減少し、133億円となっております。主な要因としては、前期末の売上債権を回収したことにより、受取手形及び売掛金が40億4百万円の減少となる一方、上記債権の回収により現預金及び預け金の合計額が7億26百万円、流動資産のその他が5億1百万円、仕掛品が4億2百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前期末に比べて17億12百万円減少し、66億13百万円となっております。主な要因としては、仕入債務の支払いにより支払手形及び買掛金が21億80百万円の減少となる一方、前受金が4億89百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、前期末に比べ5億98百万円減少し、66億87百万円となりました。主な要因としては、四半期純損失の計上や配当金の支払等により、利益剰余金が7億26百万円の減少となる一方、為替換算調整勘定が94百万円増加したことによるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、売上債権の減少による収入40億4百万円があった一方、税金等調整前四半期純損失7億64百万円の計上、ならびに仕入債務の減少による支出21億80百万円があったこと等により、前連結会計年度末に比べ7億20百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には53億28百万円（前期末比15.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して2億53百万円減少し、8億90百万円の収入となりました。主な要因としては、売上債権の減少による収入40億4百万円があった一方、仕入債務の減少による支出21億80百万円や税金等調整前四半期純損失7億64百万円の計上があったこと等によるものです。なお、当社グループ水処理事業においては、プラント工事の金額規模等が異なるため、各々の支払状況や入金状況によって連結会計年度毎に大きな増減があります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して8百万円減少し、13百万円の支出となりました。主な要因としては、関係会社出資金の売却による収入25百万円があった一方、無形固定資産の取得による支出25百万円及び有形固定資産の取得による支出11百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して41百万円減少し、1億56百万円の支出となりました。主な要因としては、配当金の支払額1億50百万円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想(連結・個別)につきましては、平成25年5月9日付公表の予想から修正はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,511	2,154
預け金	2,100	3,183
受取手形及び売掛金	5,787	1,783
商品及び製品	6	6
販売用不動産	36	35
仕掛品	259	662
原材料	321	290
その他	765	1,267
貸倒引当金	△4	△1
流動資産合計	11,785	9,381
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	915	897
機械装置及び運搬具（純額）	27	25
土地	858	858
その他（純額）	40	34
有形固定資産合計	1,841	1,815
無形固定資産	124	126
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706	1,827
その他	153	150
投資その他の資産合計	1,859	1,977
固定資産合計	3,825	3,919
資産合計	15,611	13,300

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,964	1,783
未払法人税等	315	25
前受金	632	1,122
受注損失引当金	522	743
引当金	78	57
その他	1,120	1,168
流動負債合計	6,634	4,901
固定負債		
退職給付引当金	1,584	1,616
引当金	47	55
負ののれん	1	—
その他	58	39
固定負債合計	1,691	1,712
負債合計	8,325	6,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,947	1,947
資本剰余金	1,537	1,537
利益剰余金	3,749	3,022
自己株式	△7	△8
株主資本合計	7,226	6,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	47
為替換算調整勘定	45	139
その他の包括利益累計額合計	58	187
純資産合計	7,285	6,687
負債純資産合計	15,611	13,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	5,466	4,534
売上原価	4,374	4,275
売上総利益	1,091	258
販売費及び一般管理費	1,134	1,081
営業損失(△)	△42	△823
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	5	5
持分法による投資利益	—	22
負ののれん償却額	7	1
保険解約返戻金	50	—
その他	2	21
営業外収益合計	71	57
営業外費用		
支払保証料	4	4
為替差損	7	—
持分法による投資損失	22	—
その他	0	0
営業外費用合計	34	4
経常損失(△)	△5	△771
特別利益		
関係会社出資金売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△7	△764
法人税、住民税及び事業税	15	15
法人税等調整額	△25	△203
法人税等合計	△10	△188
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	3	△576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3	△576



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	3	△576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	34
持分法適用会社に対する持分相当額	12	94
その他の包括利益合計	△3	129
四半期包括利益	△0	△447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△0	△447
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△7	△764
減価償却費	41	43
負ののれん償却額	△7	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△2
受注損失引当金の増減額(△は減少)	37	221
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△30	32
受取利息及び受取配当金	△11	△12
為替差損益(△は益)	1	△0
持分法による投資損益(△は益)	22	△22
保険解約損益(△は益)	△50	—
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
関係会社出資金売却損益(△は益)	—	△6
売上債権の増減額(△は増加)	3,381	4,004
たな卸資産の増減額(△は増加)	△95	△370
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,139	△2,180
前受金の増減額(△は減少)	479	489
未収消費税等の増減額(△は増加)	△15	38
未払消費税等の増減額(△は減少)	△155	46
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△224	△341
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△49	0
その他	△16	6
小計	1,161	1,179
利息及び配当金の受取額	18	23
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△48	△317
法人税等の還付額	12	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,143	890
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△206	△6
定期預金の払戻による収入	200	—
有価証券の償還による収入	10	—
有形固定資産の取得による支出	△23	△11
無形固定資産の取得による支出	△29	△25
投資有価証券の取得による支出	△9	△0
関係会社出資金の売却による収入	—	25
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	4	3
保険積立金の解約による収入	50	—
敷金の差入による支出	△1	△2
敷金の回収による収入	1	2
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4	△13
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△3	△3
長期未払金の返済による支出	△4	△2
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△107	△150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115	△156
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,022	720
現金及び現金同等物の期首残高	3,095	4,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,118	5,328

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。